

愛媛県行政評価システム外部評価委員会 令和3年度外部評価結果について【総括】

1. 3年度外部評価の実施内容について

本年度は、5部局（総務部、県民環境部、保健福祉部、経済労働部、教育委員会）を対象に評価を実施した。

昨年度に引き続き、より効果的・効率的な事業の見直しに繋げるため、「部局間の連携」に着目して評価することとし、9施策について各部局からヒアリングを行った。

評価の過程では、施策目標の達成に向けて、部局間連携のほか、より効果的・効率的な実施方法はないか、また、より県民に分かりやすい成果指標はないかといった観点から、事業成果の分析や実施手法の検証を行った。

その結果、予算の有効活用や事業の効率的な執行、社会経済情勢や県民ニーズに合わせた提案が出され、4年度予算編成や事業の実施方法にも反映させることができた。

2. 外部評価結果への対応について

外部評価委員会では、85件の質問・意見等及び22件の提案を提出し、各部局において、これらを踏まえた各事務事業の必要性・有効性・効率性の検討等を行い、可能なものから事業内容や実施手法の見直しなどの対応がなされたほか、4年度予算については、事業内容の拡充等を図るため、7,014千円増額しており、一定の評価ができる。なお、県民への説明責任の確保の観点から、成果指標や評価の内容、分析の手法を見直すなど、必要な改善が進められていると考える。

3. 評価結果のフォローアップについて

提案等への対応について、評価結果の意図を十分御理解の上、引き続き着実な改善を進めていくよう改めてお願いするとともに、増額された事業においては、適正な予算執行が行われるよう、当委員会としては、今後の状況を注視することとし、必要に応じて進捗等の報告を求める場合もあるので、御協力をお願いしたい。

4. 4年度外部評価について

4年度の外部評価委員会においては、各部局において、PDCAサイクルによる事業の成果分析及び見直しが行われているか、施策目標の達成に向けた積極的な事業改善や事業のスクラップ・アンド・ビルド、部局間連携等による効果的な事業の実施に取り組んでいるか、また、評価内容が県民に分かりやすく伝えられているか等について、引き続き分析・検証を進めていきたい。

令和4年3月7日

愛媛県行政評価システム外部評価委員会
会 長 牧 野 光 昭